

この子らと

令和5年4月号

命輝く子ども



甲突川の桜

わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

4月は、「出会いの時」



鹿児島市内の桜の満開の便りも聞かれてまいりました。ときはまさに百花繚乱、そして、出会いの季節です。

さわやかな春の風が、23名の園児と4名の職員を本園に運んできてくれました。

101名の子どもたちと31名の職員を乗せた船が新たに出航しました。

本園は、「地域に浮かぶ船」のようなものです。この船は、地域の皆さま、保護者の皆さま等の支えなくして目的地に入港することはできないと思っています。



わたしたち職員は、子どもたちの成長のために職種を超えて、その責を果たすために精進・努力いたします。ご支援・ご協力についてよろしくお願い申し上げます。

結ばれた糸

縁あって結ばれた糸は、縁あって結ばれた意味を理解しなければならない。縁あって結ばれた糸は、互いの足りないところを見極め、補い、睦み合う。縁あって結ばれた糸は、天地をしっかりとつないでその恵をわかちあう。縁あって結ばれた糸は、縁あって結んでいただいた意図を悟らねばならない。

“4月1日は「入園式」でした”

不思議なめぐり合わせで、本園に来ていただいた子どもたちであり、保護者の皆様です。子どもたちがいて、保護者あっての本園です。常に感謝の心をもってみなさまと関ってまいります。

一期一会の良き出会いに感謝!



令和5年度の本園の経営の方針です。子どもたち一人一人は、いつか必ず花咲く「可能性」という種子を無限にもっています。本園は、子どもたちの可能性が花咲くように未来につながる教育・保育、成長につながる教育・保育を実践してまいります。

園訓 **「たったひとつの命を大切に共に育ち合う」**

教育・保育の方針

- 1 乳幼児期に大切な意欲・思考力・社会性等非認知能力を培う教育・保育を進めます。(子どもたちに内発的動機付けを行い、子どもたちが主体的な学んでいく教育・保育を実践します。)
- 2 一人遊び・室内遊びから戸外遊び・群遊びを進めます。(群れ遊びは、子どもたちに社会のルール・マナーを育みます。)
- 3 自由遊び・設定保育のバランスのとれた教育・保育を進めます。(保育者の設定保育により一人一人に確かな学びの基礎を培います)

めざす認定こども園像

- 1 子どもの笑顔、大人の笑顔があふれる園
- 2 子どもの成長を約束する園
- 3 思いやりの心があふれる園
- 4 安心・安全な園
- 5 地域に愛され、地域に貢献する園

【重点課題Ⅱ 感謝の心があふれる園づくり】

- 1 全ての人に対して、慈愛に満ちた言葉遣いや思いやりのある関わりをします。(和言愛語を実践する園です)
- 2 職員同士、職員と子ども、子ども同士、職員と保護者等が「笑顔で挨拶」を行うようにします。
- 3 大切な命をお預かりしているという危機意識をもって子どもたちにかかわるようにします。

課題の実現に総力をあげて取り組みます。